

【受験動機】

2017年末に簿記2級に合格後、記憶が薄れない内に取り組むべき資格をリサーチし、財務・会計は楽勝との勘違いに基づいて中小企業診断士受験を決意。

【受験1年目(2018年)】

試験の全体像も把握しないまま年明け早々に購入した通勤講座(オンライン講座)を通勤時間で兎に角2巡し、奇跡的に2018年度1次試験に一発合格。

1次試験後初めて、通勤時間に過去問と模範解答に目を通しただけで、実際に解いてみたこともない状態で臨んだ2次試験には不合格(CBAD、総合B)。手応えとしても事例Ⅳは全く歯が立たず、足切りでした。

【受験2年目(2019年)】

二度と1次試験に合格する自信がなかった為、2019年度2次試験には絶対合格すべく、予備校に通う事を決意。MMC通学を選択した理由は下記です。

- ・ 幼児と小学生の子供がおり、通信だと時間が取れず進まないことが想定されたので、確実に受講出来る環境を確保。
- ・ 実家周辺の会場なので、夫の都合が悪い場合でも子供を預けて受講しに行ける。
- ・ 色々検討する時間も勿体ないから、フィーリング。(説明会には参加しませんでした。)
- ・ そして何より高い合格実績。

最初、MMCの講義内容には特に真新しい画期的な点はないと感じましたが、先生方の講義(話術)は面白かったので毎回楽しく受講出来ました。本当は最前列で受講したかったのですが、最前列は20代の若者が多い印象で、おばさんとしては2列目着席が精一杯でした(笑)

初期の答練では、それなりに書けたつもりでも軒並み6割未達。実際にはMMC講義内容を自分のものに出来ておらず、題意を正確に捉えられていなかった事、採点者に分かりやすく書いていなかった事が徐々に理解出来ました。どの事例も終盤まで6割超えを安定達成は出来ず、初夏には焦燥感もありました。

また、私はGWオプションの財務ファイナンス講座を受講出来なかった不安から、他社問題集も使おうか迷った時期もありました。それでも経験則から他教材には手を出さず、MMC教材のみを繰り返し解く事に徹しました。

繰り返しの講義、答練を経て、晩夏には少なくとも手応えと採点結果は一致するようになり、9月のMMC模試では首位を取ることが出来ました。MMCで毎回の講義終盤に実施する財務の応用問題を5周以上こなす事で、初年度Dだった事例Ⅳを得意科目に変え、合格する気満々で本試験当日を迎えました。

#### 【本試験当日】

それでも本試験会場には魔物が住んでいます。

本試験では過去問とテイストが変わったように感じ、MMCで叩き込んで頂いた通りには力を発揮できず、試験終了後はあまり自信もなく、半々かなと落ち着かない日々を過ごしました。特に事例Ⅲは過去問とのギャップにパニックに陥り、題意を汲み取れなかった自覚から振り返るのも辛く、事例Ⅲだけは再現答案を書く事が出来ませんでした。それでも合格出来たのは、MMCで題意の捉えにくい難問でも最低限の対応が出来るよう訓練されて来たからだと思います。

因みに、本試験で事例Ⅳの数字を全問正解出来たのは、MMCの財務教材を信じて繰り返した成果に他ならないと思います。

#### 【最後に】

私は主に子供達の起床前と往復の通勤時間を勉強に当て、再答案と過去問は子供達の習い事の待ち時間に体育館や水泳教室の片隅で取り組みました(他の付き添いのママ友とは疎遠になりました。笑)。時には遠征に付き添った先のグラウンドでスマホから添削結果を確認したり、夜中にふと目覚めて勉強した事もありました。フルタイ

ム就業目つ母親業をやっていたら当然ですが、基本的に自分の時間がなく、時間的に苦学生の部類だったと思います。母親業以外にも色々な制約を抱える受験生がおられると思いますが、私は限られた時間だからこそ集中でき、隙間時間をフル活用できたと思っています。

10か月間少なからぬ日曜日を通学に費やし、子供達との時間を犠牲にしたのだから合格するしかないという強い思いはありました。また、こなした事例数は他社利用の受験生より多いであろうことも、自信に繋がったと思います。自身の努力が最重要ですが、MMCを選択した事も大きかったと思います。

元々は勘違いに基づいて受験しましたが、難関と言われる試験を突破できた事自体が達成感と自信になりました。最後までご指導下さった先生方には感謝しております。